

■過去の展示歴－2017年

05/08～07/22 「考古学所蔵品展～所蔵資料から見る日大の考古学～」

10/23～11/26 「王朝の物語展」

12/11～12/23 「「満蒙」関係寄贈資料展－記録化された在「満洲」日本人の日常と記憶－」

平成 29 年度日本大学文理学部資料館 展示会

「考古学所蔵品展～所蔵資料から見る日大の考古学～」

会 期:平成 29 年 5 月 8 日(月)～7 月 22 日(土)

開館時間:平日 10 時～17 時(土曜日は 13 時まで)

休 館 日:日曜日

※但し、7/16(日)は、夏季オープンキャンパスにより、平日の時間で特別開館いたします。

展示概要:

日本大学では、1929(昭和4)年に初めて人類学・考古学に関連する講義が開始されました。以来現在に至るまで多くの考古学専攻生を輩出しています。日本大学における考古学研究は、松村瞭・門上秀叡・八幡一郎の3名の研究者によってその礎が築かれ、その後も内外の研究者が関わって発展してきました。その間、様々な時代・地域の遺跡を発掘調査し、資料を収集しています。

また、このような活動を続ける中で資料の寄贈を受けることもあり、さらに発掘調査実習の授業などを通じ、所蔵品は年々増加しています。多年にわたり発掘したこれらの資料は、調査・研究、成果の公表を通じて広く社会への還元を目指しています。

本展示会では、文理学部が所蔵する考古学資料の中でも、本学を代表する資料を中心に展示し、日本大学における考古学の軌跡を紹介します。

主な展示資料:

- ・後貝塚(千葉県船橋市) 出土深鉢形土器
- ・平山古墳群(東京都日野市) 出土鉄刀
- ・女方古墳群(茨城県筑西市) 出土人物埴輪
- ・鈴谷貝塚(サハリン州) 出土骨斧

主催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

[▲ページトップへ](#)

平成 29 年度 日本大学文理学部資料館展示会

王朝の物語展

【会 期】

平成 29 年 10 月 23 日(月)～11 月 26 日(日)

【開館時間】

平日 10 時～17 時(土曜は 13 時まで)

【休館日】

日曜日, 11 月 1 日(水)

※ただし, 11 月 4 日(土), 5 日(日), 11 日(土), 25 日(土), 26 日(日)は平日の時間で特別開館

【展示会の概要】

王朝の物語作品, 源氏物語以前の, いわゆる平安時代前期の物語作品の中から, 日本大学が所蔵する貴重な資料を展示紹介します。

竹取物語・伊勢物語・うつほ物語などの代表的な物語作品に焦点を当て, 本学所蔵の和古書資料のうち, 鎌倉・室町時代の写本, 古活字版をはじめとする江戸時代の版本, 棚飾りと言われる豪華な「落窪物語絵巻」などの絵巻や絵入本に加え, 貴重な個人所蔵の資料も展示します。

本展示は, 本学も馴染み深い中古文学会の創設 50 周年記念事業への参画の意味も含めたものです。日本文学の誇る王朝の物語の伝統や, その様相についても考える機会となれば幸いです。

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【協力】日本大学図書館・有吉保氏(日本大学名誉教授)

日本大学国文学会・日本大学文理学部図書館

【協賛】中古文学会

▲[ページトップへ](#)

日本大学文理学部資料館 展示会

「満蒙」関係寄贈資料展ー記録化された在「満洲」日本人の日常と記憶ー

会 期:平成 29 年 12 月 11 日(月)~12 月 23 日(土)

開館時間:平日 10 時~17 時(土曜は 13 時まで)

休 館 日:日曜

※12 月 23 日(土・祝)は 13 時まで開館。

展示会概要:

日本大学文理学部資料館では、過去3回にわたり「満蒙」に関する展示会を開催してまいりました(平成21年「写された満洲ーデジタルアーカイブから甦る哈爾濱都市空間ー」、平成24年「描かれた〈満・蒙〉ー『帝国』創造の軌跡ー」、平成27年「現された『満洲国』ー〈満・蒙〉影写の多様性と受容ー」)。その過程で、日本大学文理学部では、幸いにも多くの篤志家の方より、貴重な戦前・戦中資料の寄贈を賜ることとなりました。

今回の展示では、そのご寄贈資料から、整理が終わった資料の一部を展示し、寄贈者の方への謝意を表すると共に、在「満洲」日本人が過ごした日々的一端を紹介いたします。

主 催:日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

協 力:公益財団法人 東洋文庫

【ギャラリートーク開催のお知らせ】

講 師:松重充浩氏(日本大学文理学部史学科教授)

日 時:12/16(土)11:00~

12/23(土)11:00~

場 所:日本大学文理学部資料館展示室(図書館1階)

[▲ページトップへ](#)